

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム はるかぜ荒田

作成日 平成22年7月9日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自己評価 71	一番危険なのは夜間帯での災害と考えられるので、定期的に夜間帯での訓練や非常時の備蓄の管理が望まれる	災害対策については備品の補充を行う。年に2回消防訓練を行い、1回は夜間を想定した訓練が出来る。	夜間を想定した消防訓練を実施する。夜間は一人になるのでスタッフが一人でどの程度の事が出来るのかを知る。備品は必要な物品リストを作り購入する。	6か月
2	自己評価 37	安定しているような利用者の場合も、月に1回程度は新鮮な目で本人や家族の今の意向や状況を確認することが望ましい。	現状に即した介護計画の見直し出来る。	入居者個人の情報は日々の申し送りやカンファレンス等で話合った内容をまとめて記録に残す。月1回はモニタリングを行い、記録物は職員全員目を通して情報を再確認し、サインする	6か月
3	自己評価 8	年1回の評価の効果をより高めるために、取り組みや改善経過のモニター役として、運営推進会議で自己評価の説明外部評価の結果を公表することなどが望まれる	運営推進会議を活かした取り組みが出来る。	運営推進会議で話合われた内容はきちんと議事録に残す。自己評価や外部評価の結果は会議に出席された皆さんにも閲覧して頂くよう働きかけ、改善に向けてのアドバイスを受ける。	6か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。